

【報告】平成27年1月11, 12日「日本伝統音楽のタベ」
(於:ドゥシャンベ市内「タジキスタン国立音楽院」)

1月11日(日), ドゥシャンベ市内「タジキスタン国立音楽院」(モスクワ公園向かい)において, 日本の伝統楽器である箏・三味線による演奏会を実施しました。

演奏会には, モスクワ国立音楽院の和楽器(箏・三味線)演奏家であるナターリヤ・ゴルビンスカヤ(クロブコヴァ)先生及びナターリヤ・グリゴロヴィチ先生を当地にお迎えし, 沢井忠夫作曲「鷹」をはじめとする現代箏曲6曲を披露しました(当館堀江書記官も共演)。会場はタジク政府関係者や一般市民, 当地外交団等で満席となり, 総来場者数は約250名でした。



鎌田大使による挨拶



タジク政府関係者による挨拶



ナターリヤ・ゴルビンスカヤ先生(左)とナターリヤ・グリゴロヴィチ先生(右)による演奏



当館堀江書記官(左)とのセッション



大勢の観客で埋まった会場



奏者に演奏終了後、花束を贈呈

1月12日(月), ナターリヤ・ゴルbinsカヤ(クロブコヴァ)先生及びナターリヤ・グリゴロヴィチ先生は、タジキスタン国立音楽院の先生及び学生(約50人)を対象に、日本伝統音楽の歴史や楽器に関する講義を実施し、「六段の調べ」「八千代獅子」等の古典箏曲も披露されました。



タジキスタン国立音楽院副学長による挨拶



講師の説明を聞く参加者



実演するナターリヤ・グリゴロヴィチ先生



ナターリヤ・ゴルbinsカヤ先生に箏の弾き方を教わる参加者